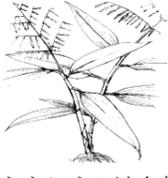


生薬解説 273 た一18

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
た一18	<p>たんちくよう 淡竹葉</p>  <p>ササクサの地上部</p>	<p>中医学生薬解説、参考・使用上の注意 および中医学以外の生薬解説・生薬学解説</p> <p>甘・淡、微寒 心・肺・小腸</p> <p>6~12g、煎服。</p> <p><b>中医生薬解説</b></p> <p><b>利水通淋</b> 心熱が小腸に移ったことによる焦燥、不眠。口内炎および排尿痛、排尿困難などの症候に、<b>生地黄・木通・灯心草・車前子</b>などと用いる「<b>導赤散</b>」。</p> <p><b>清心除煩</b> 心熱の焦燥、不眠や小児の夜泣きなどに、<b>釣藤鈎・薄荷・灯心草</b>などと用いる。</p> <p><b>参考</b> <b>淡竹葉・竹葉</b>はほぼ同じ効果を持つが、<b>竹葉</b>は清心除煩にすぐれ、<b>淡竹葉</b>は利水にすぐれている。 なお、明代以前の<b>淡竹葉</b>はハチクであるので、注意が必要である。</p> <p><b>使用上の注意</b> 長時間煎じてはならない。 妊婦には慎重を要する。</p>	